

# こどもっと TO THE FUTURE の遊び方

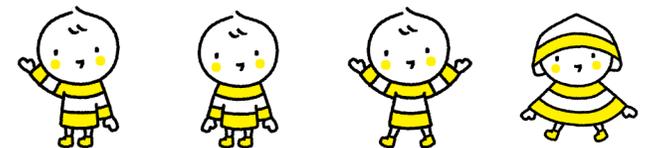


こどもの声をもとにした「聞いて」ほしいことの解決策を考えるカードゲームです。

「ほかの子はどんな意見をもっているのかな」「自分ならどうするかな」など楽しくゲームしながらみんなで考えます。

- ◇プレイ人数 3～6人
- ◇所要時間 30分ほど
- ◇使用カード 聞いてカード、KOBEカード、オリジナルカード（白紙のカード）

「聞いてカード」と  
「KOBEカード」



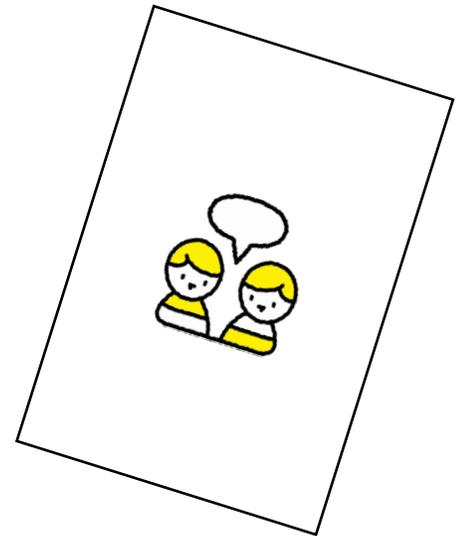
# 聞いてカード



神戸市のこども計画「神戸っ子すこやかプラン2009」の策定にあたって、こども未来課で実施した「こどもアンケート」から、こどもの自由意見をもとに作成しました。

(例)

- ◇ 給食のデザートを週3～4個出してほしい
- ◇ 公園に新しい遊具や施設がほしい
- ◇ 神戸は坂が多いから通学とか遊びに行くときしんどい



# KOBEカード



神戸にある資源カード。このカードを組み合わせ、 「聞いて」 を解決に導きます。

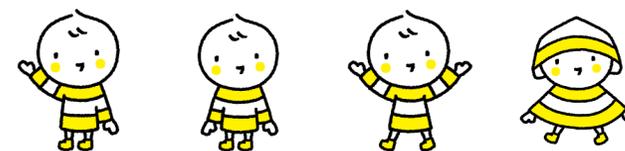
(例)

- ◇ こべっこランド
- ◇ しあわせの村
- ◇ 児童館

- ◇ 学校の先生
- ◇ 市長
- ◇ 100万円



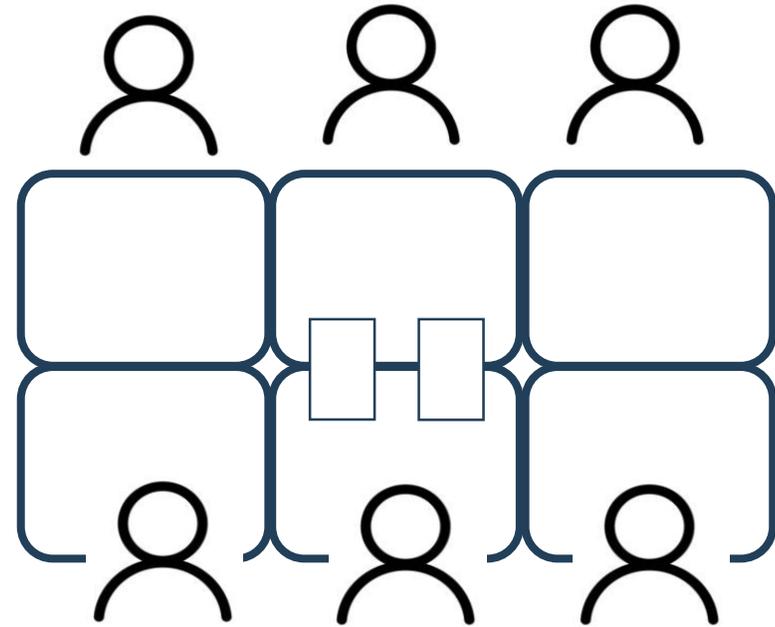
まずはやってみよう！





# 遊び方 ①カードを配る

- ・ 資源カードはプレイヤーに**7枚ずつ**配り、残りは山札に。
- ・ 聞いてカードは山札に。



# 遊び方 ②聞いてカードを読む



- ・じゃんけんで勝った人が「親」となり、ゲームスタート。
- ・親は「聞いてカード」を1枚めくり、**その人になりきってセリフを読みます。**

※小学生低学年とするときは…

- ①2人1組でするのも良いかもしれません。
- ②黄色（中学生の声）と青色（高校生の声）のカードを抜くと、  
内容が簡単になります。

# 遊び方 ③資源カードを組み合わせ、 問題にアプローチ



- ・ 親以外のプレイヤーは、資源カードを組み合わせ、親の「聞いて」を解決するアイデアを考えます。使えるカードは最大3枚。
- ・ 思い付いた人から先着順でアイデアを発表。

※アイデアに対して**否定することは厳禁！**

※アイデアが思い付かなくても**パスはなし**です！

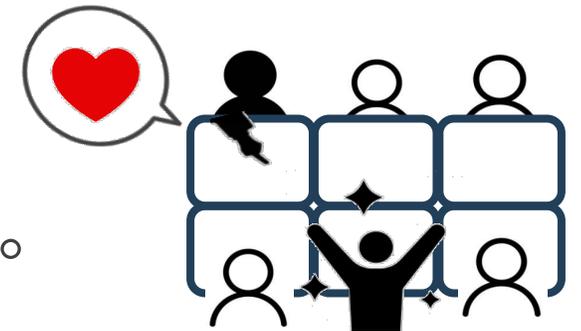
頭をやわらかくして考えましょう♪



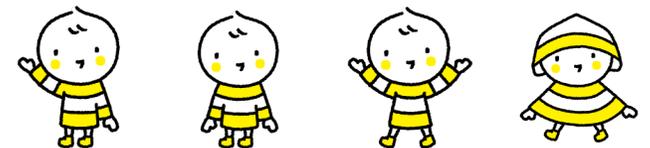
# 遊び方 ④ベストアイデアを選ぶ



- ・ 親は、全員のアイデアを聞いて、「1番良かった」「素敵なアイデア」などの基準で、ベストアイデアを選び、選んだ理由を伝えます。
- ・ **選ばれた人は、その組み合わせを手元に残し、残りの人は山札にカードを戻す。そして、使った分を山札から引きます。手元は常に7枚です。**
- ・ グループ内で全員が親を1回ずつ務めて終了です。



次は、自分たちの  
「聞いてカード」「KOBEカード」  
を作ってやってみよう！





# 自分たちでカードを作ってやってみる

ゲームをやってみて、

- ①自分の聞いてカードを作ってみます。今感じていることや悩んでいることを、オリジナルの「聞いてカード」に書き込みます。
  - ②こんな神戸の魅力的な資源がある、こんな解決カードが欲しい、と思うオリジナルのKOBEカードも作成してみます。
- ・各オリジナルカードも使って、再度ゲームをやってみましょう。